

「岩手県で登録開始 住宅セーフティネット」

ビレッジハウス
岩手県で登録開始
住宅セーフティネット

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区、共同経営者・岩元龍彦、工藤健亮)は11月8日、岩手県内の賃貸物件「ビレッジハウス」で住宅セーフティネットの登録を始めた。

同県内で4270戸の登録を目指す。同制度の登録は、東北地方で宮城県、秋田県、福島県、青森県に続き5県目、全国

11県目となる。
住宅セーフティネット法に基づく賃貸住宅で、

高齢者や障がい者、子育て世帯、シングルマザー、生活保護受給者などに民間の空き家・空き室を活用して住宅を提供する。11月9日時点の全国登録数は1万3432戸で、そのうち大阪府が6448戸、愛知県1315戸、兵庫県1183戸などとなっている。

国土交通省は2020年までに17万5000戸の登録を目指す。